

## 《平成 28 年度事業報告》

本法人は平成 28 年度の事業計画に基づいて以下の事業を実施した。

### [1] こころのバリアフリー研究会総会の開催

平成 28 年 6 月 11 日及び 12 日、NTT 東日本関東病院本棟 4 階カンファレンスルーム・地階ボヤールにて「こころのバリアフリーに向けてみんなができること」をテーマに第 3 回こころのバリアフリー研究会総会を開催した。

町永俊雄氏による基調講演「こころのバリアフリーに向けて～自分の問題として考えるために～」を市民公開講座とし、また原田幾世氏によるこころのバリアフリー賞受賞講演「新たなポジションであるピアスタッフの価値と可能性を広げる」、シンポジウム「非自発的入院の現状と課題 2016 国連の指摘に対する改善策を見つけるために」、「色んな角度からスティグマを考える」、「就労支援と就労移行～多様な立場からの提言～」、「各地域におけるアンチスティグマ活動」、「長期入院患者の地域移行支援を推し進めるために～実効性のある支援プログラムとは何か」、「メンタルヘルスと身体的健康」、「ピアサポートおよびピアスタッフの可能性と実際」、「一般演題」が行われた。当事者、家族、その他の支援者、精神保健従事者、精神科医など様々な背景をもった参加者が意見、情報を交換し参加者は 77 名であった。

テーマ、日時、会場などについては、こころのバリアフリー研究会の HP で公表したほか、関連の雑誌での案内掲載、関連の団体等の集会におけるパンフレットの配布などを通じて、広く周知を行った。

### [2] 若手精神科医へのこころのバリアフリー研修

本研修は、特定非営利法人日本若手精神科医の会との共同事業として行われ、若手精神科医に精神科医がどのようにこころのバリアフリー活動を進めることができるかについて、こころのバリアフリー研究会総会に際して研修を行った。

具体的には、平成 28 年 6 月 11 日、NTT 東日本関東病院にて開催された第 3 回こころのバリアフリー研究会総会では、若手精神科医の会、田中増郎氏がシンポジウムの企画をし、濱本妙子氏、高橋誠人氏、江上剛史氏、長徹二氏により「精神科医となっただけのこと～障がい者ボランティア活動、当事者活動を経て～」の発表が行われた。

### [3] 精神疾患患者のシリアスな身体的治療への説明同意手順・診療援助ガイドラインの作成

重度の精神疾患患者がシリアスな身体的治療を受ける際の診療援助のあり方については、これまでガイドラインが作成されておらず、重度の精神疾患患者のシリアスな身体的治療が十分に施行されないという結果を招いている。この問題を解決するために、こころのバリアフリー研究会の会員等、国内・海外を含めた秋山剛、熊倉陽介、松長麻美、種田綾乃、松谷光太郎、米倉佑貴、Claire Henderson, Elizabeth Barley 8名のメンバーでガイドライン作成ワーキンググループを結成して進められ、国際基準を備えた病院からの協力、文献サーチの進捗などが報告された。成果物は、研究会のHP、学会、雑誌などを通じて公表される予定である。ガイドラインが策定された後、一定の期間を経て内容の見直しを行い、必要があれば改訂作業を行う。

〔4〕 ピアスタッフ研修支援

岩崎香、山口創生、秋山剛が岩崎の研究班に参加し、ピアスタッフのための基礎研修会のプログラム案を作成している。

リカバリーした当事者が他の当事者を支援するピアスタッフは、当事者のリカバリーを進め、精神疾患に関するスティグマを解消するために、極めて重要な役割を果たす。わが国では、これまでのところ、ピアスタッフに対する研修、ピアスタッフを受け入れるスタッフに対する研修が系統的には行われていなかった。基礎研修会をモデルで作成し、内容として何を入れるかはNPO 団体が原型を作成しているのでそれを1日半に作り上げようと計画中である。基礎を共通にし、それぞれの障害についての研修はまた別にという手法で進める予定。今年度モデル作成、来年度実行の場合は研究会の会員にも周知して協力を求めるかもしれない。成果物は、研究会のHP、学会、雑誌などを通じて公表される予定である。

〔5〕 情報収集発信事業

Newsletter を発刊し、全国に数多く存在しているこころのバリアフリーに関する活動をしている団体からの情報を系統的に収集し、発信する事業を行った。成果物は、研究会のHP などを通じて公表されている。

〔6〕 こころのバリアフリー研究会の広報

こころのバリアフリーの活動を進めるためには、ホームページ等を通じた情報の交換、広報活動を活発に展開することが必要であり、会員・非会員での差別なく、成果物閲覧を可能とした。総会を行う際には、アナウンス、プログラムなどを掲

載した。また、facebook アカウントを作成し会員のみならず、その知人・友人にも情報発信できるように準備している。

[7] 表彰事業。

表彰事業は、すぐれたところのバリアフリー活動を展開している個人、団体を表彰し、その成果について周知するとともに、さらにすぐれた活動の展開を奨励することを目的とした。募集は、HP・関連団体等を通じて公募したところ、11件の応募があり、選考は直接の利害関係者が排除した選考委員会で公正に行われ、特定非営利活動法人 Light Ring の表彰を決定した。